

キイロテントウゴミムシダマシ美囊郡吉川町にて採集

(兵庫県甲虫相資料・165)

高橋 寿郎

キイロテントウゴミムシダマシ *Leiochrodes masidai* Nakane, 1963 は中根猛彦博士が Miho, Naka-gun, Shimane (多分島根半島の美保関町の美保湾に面した海岸線) 産で記載された種である (Fragm. Col. pars. 6, p. 26, 1963)。同時に同博士は原色でも図説しておられる (原色昆虫大図鑑 第2巻, pl. 110, f. 16, p. 220, 1963)。黄赤褐色で光沢があり割合顕著な種であるが従来兵庫県からの記録は無かった。1985年7月11日美囊郡吉川町で薪から1頭採集出来たので此処に報告しておく。

本種の分布は本州とのみであったが最近高井 泰氏は福岡県黒木町から九州からの初めての記録をしておられる (月刊なし No. 173, p. 36, 1985)。

近似のクロテントウゴミムシダマシ *L. convexus* の方も県下での記録が案外と少い (仲田元亮氏の川西市大和の記録があるがそれ以外では筆者が採集した川辺郡猪名川町槻並 1 ex., 2-VII-1978, 神戸市烏原 2 exs., 30-VI-1984 があるだけである)。(SEP. -1985)

県 関 係 文 献 紹 介

○ 河上仁之: 伊丹市昆虫目録 (1, 2)

伊丹の自然 1:22-32, 1984. 2:27-32, 1985.

伊丹市で1965年以後に観察例のある昆虫をまとめると474種あるとしてその目録並びに代表グループの解説をされている。(1)で甲虫は39科202種が記録され,(2)で9科16種が記録されている。また(2)では直翅目についての観察記録が報告されている。

この『伊丹の自然』は昆虫以外の報文も多くあり仲々立派な刊行物である(第1号 48p. 第2号 56p.)。本書を御恵与下さった伊丹博物館 坂根隆治氏に厚く御礼申しあげる。

○ 住宅・都市整備公団関西支社:

東条地区開発に伴う環境影響評価現況調査報告書 252p. (1984).

一般に手にすることのむづかしい文献である。昆虫については4~7月の間に7回調査して

65科281種を記録したものが含まれている（昆虫調査者・高橋寿郎、蜂谷幸雄）。

○ 奥谷禎一：大岡山自然環境調査報告 50p. (1985)(園田学園)

奥谷博士が中心になって園田学園の依頼により同園の大岡山グリーンキャンパスを調査されたもので昆虫については但馬むしの会の皆さんが手伝われている。大変貴重な文献でこの文献を御恵与下さった奥谷博士に厚く御礼を申しあげる。

○ (仮称)押部谷パブリックゴルフ倶楽部建設事業

動物調査報告書 91p. (1985年3月) パンフィックコンサルタンツ株式会社刊。

神戸市押部谷町木津地域での1984年に調査を実施した動物関係の結果をまとめたものである。

鳥類, 昆虫類, 水生小動物, プランクトン等の調査結果で昆虫類については高橋寿郎, 蜂谷幸雄が担当した。一般に仲々見ることが出来ない文献の1つであるが, この様に刊行物として出版されると後々の資料となり役に立つ。昆虫はp. 18-43, 72科218種記録してある。

県内同好会誌・連絡誌 (1985)

兵庫 陸水生物 (兵庫陸水生物研究会)

№18 (1985.5). №19 (1985.7)

姫昆サロンニュース (姫路昆虫同好会連絡誌)

№72~75 (1985.9)

IRATSUME

№8/9 (1985.5)